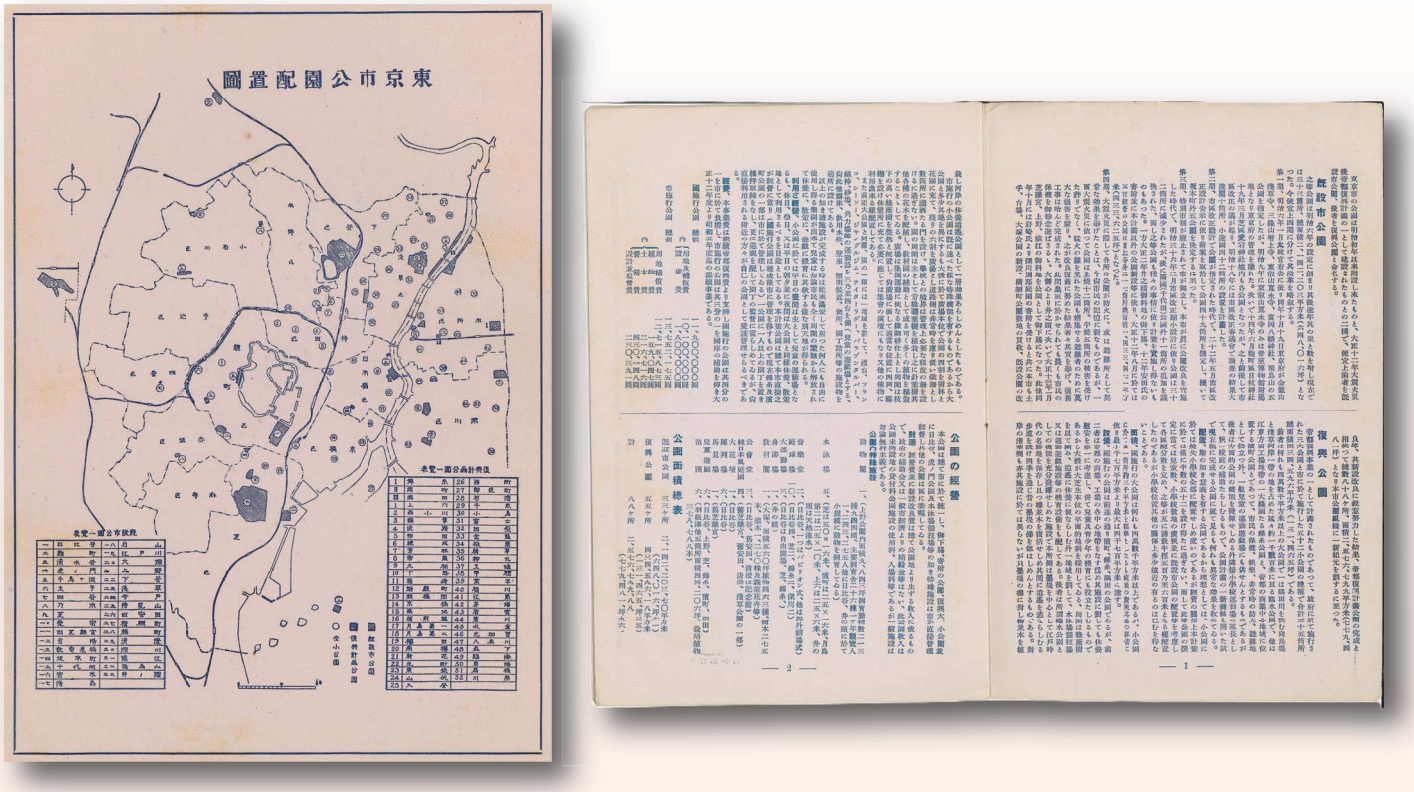
復興事業後の公園配置



東京市公園概況　請求番号：市刊 D341

この史料は、関東大震災後の帝都復興事業が完了した昭和5年(1930)頃に作成されたとみられる、『東京市公園概況』というパンフレットです。この中では、東京市内の公園を「既設市公園」と「復興公園」の二つに分け、それぞれの沿革を分かりやすく紹介しています。

関東大震災後の復興事業では55か所の公園が新設され、東京市内の公園面積は約20%増加しました。しかし、商工業や人口の集中に伴う市街地の拡大は止まらず、公園や緑地の整備はその後も東京の都市計画における重要な課題となりました。